

# Zabbix を使用したシステム監視環境構築

## 背景

今回はシステム監視環境の構築事例をご紹介します。  
お客様はシステム監視環境に専用アプライアンス製品を使用されていましたが、ハードウェア、ソフトウェアが保守期限切れを迎えたためリプレースを検討されておりました。

使用されていたアプライアンス製品には GUI で詳細な設定を行う機能がなかったため、手間をかけずに操作可能な製品が求められていました。また、お客様はコストをできるだけ抑えて構築することをご希望であったため、高機能な OSS である「Zabbix」をご提案。ハードウェアの選定から、OS、ミドルウェアの構築、Zabbix の各種サポートを担当させて頂きました。

## 概要

目的	1. 監視システムの保守期限切れに伴うリプレース 2. 現状の監視項目を維持 (死活、ディスク使用率、プロセス死活等の監視及び通知)
作業規模	監視対象環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバ：100台 (Windows、Linux)</li> <li>ネットワーク機器：20台 (F/W、ルータ、L2スイッチ 等)</li> </ul> 管理サーバ(新規構築) <ul style="list-style-type: none"> <li>サーバ：2台 (Linux)</li> </ul>
作業期間	約 1 カ月
作業人数	2 人

## 作業内容

- 事前調査  
監視対象サーバ
  - 監視項目
  - 監視方法
  - その他お客様ご要望ヒアリング
- 設計・構築  
機器選定
  - OS
  - Apache/PHP
  - MySQL
  - Zabbix サーバ
  - Zabbix エージェント(監視対象サーバへインストール)
- 監視項目(テンプレート)作成
- 動作確認  
監視項目
  - 閾値
  - 通知機能(メール通知)
- 運用サポート  
運用手順書作成
  - 障害時サポート

## 作業効果

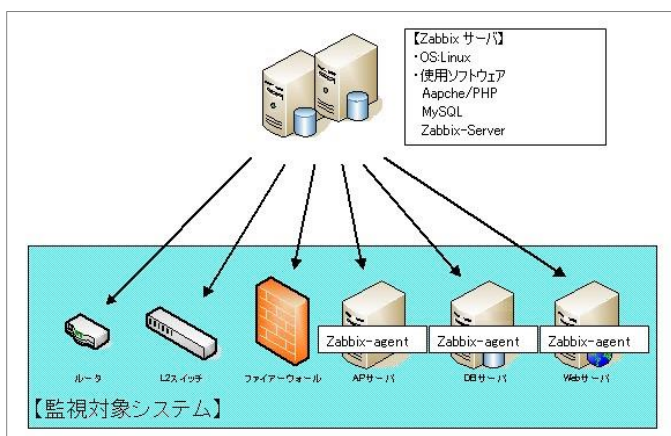
### ライセンスコスト、運用工数の削減

OSS である Zabbix を採用したことで、ライセンスコストを約 130 万円削減。また、既存のアプライアンス製品に比べ WEB ベースの分かりやすい管理画面で操作が可能になったことや、弊社にて運用手順書を作成したことで業務が標準化され、運用工数削減にも貢献することができました。

### 汎用的なハードウェアへの移行で柔軟性が向上

既存のシステム監視環境は、ハードウェアとソフトウェアがシステム監視専用に組み込まれたアプライアンス製品であったため、メモリ追加のようなハードウェア拡張には専用部品が必要であり、ソフトウェアを別サーバに移行することやハードウェアを別用途に転用することについても保守契約により制限されている状況でした。

汎用的なハードウェアと OSS に移行したことで、ハードウェア拡張を安価に行うことができるようになり、将来的にソフトウェアを別サーバや仮想環境へ移行するなど、構成を柔軟に変更することが可能となりました。逆にサポートが無くなってしまったソフトウェアに関



しては、弊社にて運用時、障害時のサポートを担当致しました。

## IHS 利用による効果

### OSS のサポートを担当

定常運用時の手順や設定変更の方法については、操作手順書の作成とレクチャーにてサポートを実施。障害時には、Zabbix の WEB サイトにてバグの報告状況を確認し、発生したエラーが仕様かどうか、あるいは既知のバグであるかどうか確認。必要に応じてフォーラムサイトやメーリングリストから情報収集を行い、原因を特定した上で対応策をご提案。サポートのない OSS 運用で手間のかかる情報収集、原因特定を代行させていただきました。